

1年目職員からのメッセージ

税関を志望した理由



飯泉 美弦
IIZUMI Mitsuru
関税局業務課総括係
令和2年度入省

最初は、安全・安心な社会を実現したいと考え、税関総合職に興味をもちましたが、業務内容を知るうちに、税関は安心と利便性を両立させる機関であるということの面白さと、同時に難しさを感じ、また、水際での取締りだけではないその業務の幅広さに惹かれました。

幅広い業務の中には、税関のIT化や化学品等の分類に係る業務もあり、理系出身というバックグラウンドを活かしつつ、分野に捉われない働き方ができると考え、志望するに至りました。



北野 敦暉
KITANO Atsuki
関税局監視課総括係
令和2年度入省

輸入品の化学分析や、効果的・効率的な社会悪物品の摘発に向けた技術開発等の分野において、大学で専攻した化学の知識を生かして制度設計や企画立案に携わりたいと思い、税関総合職を志望しました。

知的財産侵害物品の取締りを通じた経済の保護、更には国際協力など、多角的な視点で社会の向上に貢献し、自分自身が成長できることも、税関総合職の大きな魅力だと考えております。

やりがいのある職場で皆様と一緒に働ける日を、心より楽しみにしております。



小林 諒
KOBAYASHI Ryo
関税局参事官室
(国際協力担当)
国際調整係
令和2年度入省

不正薬物や銃器等の水際での取締り等を通じた、安全・安心な社会の実現に貢献できるだけでなく、他国との交渉や協力を通じた、関税・税関に係る国際ルール作りや貿易の円滑化にも携わることができる、税関業務の幅広さに魅力を感じたからです。

また、日々変化する国内外の社会経済情勢にアンテナを張りつつ、税関行政に係る政策の企画・立案に関することで、安全・安心な社会の実現と貿易の円滑化の両立をはじめとした、日本税関を取り巻く様々な課題に挑戦したいと思い、志望しました。

印象に残った仕事・やりがい



小島 賢夏
KOJIMA Satoka
関税局総務課企画係
令和2年度入省

税関と財務省関税局が仕事をしていくうえで、日々、多数の行政文書が作成されています。行政機関の活動を跡付ける重要な知的資源である行政文書の管理を、現在配属されている関税局総務課で担当しています。

行政文書に係る管理規則や、過去の経緯を調べながら進める仕事は、難解かつ膨大で、大変なこともあります。税関のカウンターパートと連携しつつ、日々勉強し、毎日少しずつでも前進できるよう取り組んでいます。



庄子 愛弓
SHOJI Ayumi
関税局経済連携室
経済連携第一係
令和2年度入省

経済連携室での業務を通じて、「知られざるEPA(経済連携協定)の世界」が少しずつ開けてきました。

物品・サービスの貿易に加え、電子商取引・環境等の分野でも、相手国の主張・反応を見つつ国益を追求する「広く、熱い世界」です。特に印象に残った業務は、日英EPA及びRCEP協定の締結に携ったことです。自分の関わったものがニュースになる経験は初めてで、心躍りました。日々学びに溢れた環境で、日本のために働けることは大きなやりがいです。一緒に「新しい世界を知るよろこび」を感じませんか。

学生へのメッセージ



石川 美静
ISHIKAWA Michika
関税局総務課企画係
令和2年度入省

今、皆さんは無限の将来の中から、1つの道を選び取る岐路に立っていることと思います。

このパンフレットを手にとっている、ということはきっと財務省税関へも興味を持ってくださっているのではないのでしょうか。

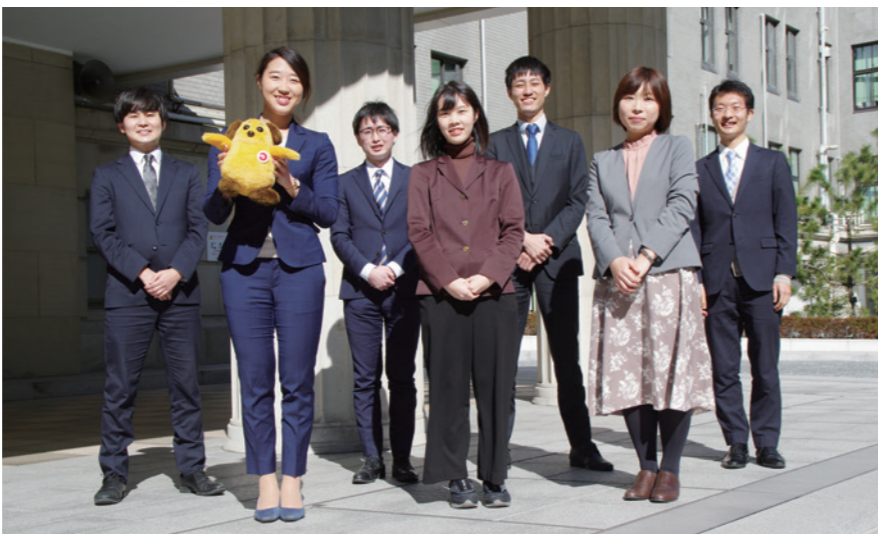
財務省税関では、様々な経験・業務を重ねることができるとおもいます。私自身、入省して1年と経っていませんが、業務の幅広さに日々驚いています。

是非説明会や官庁訪問等色々なところで業務の話聞いてみてください。悔いの無い将来の選択ができるよう、願っています。そして、興味が尽きないその時は、財務省税関の世界へ飛び込んでみませんか。皆さんと働ける機会を楽しみにしています。



長尾 周
NAGAO Amane
関税局調査課総括係
令和2年度入省

将来やりたいことを決めている人もそうでない人もいます。ぜひ自分の関心外の分野にも目を向けてみることをお勧めします。可能性を狭めずに様々な分野に視野を広げてみると、自分の考えや、やりたいことが整理されてくると思います。就職活動中は辛いこともありますが、自分と向き合ういい機会であると思います。時には自分の直感を信じて突き進んでみてください。最後に選んだ場所が財務省税関ですと嬉しい限りです。



人事採用関連情報

採用状況と任用

過去6年間の総合職年度別採用人数

※()内は女性の数

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
人数	8(3)	7(4)	6(2)	7(3)	7(3)	8(3)
院卒	化学・生物・薬学:1	行政:1	行政:2	行政:1	行政:1 化学・生物・薬学:1	行政:1
大卒	法律:3 経済:3 農業科学・水産:1	政治・国際:1 法律:2 経済:3	法律:1 経済:1 農業科学・水産:1 教養:1	法律:4 経済:1 教養:1	政治・国際:1 法律:3 化学・生物・薬学:1	政治・国際:1 法律:4 経済:2



試験区分別在職状況 事務系 **116**人 技術系 **61**人

採用等に関するQ&A

Q1 試験区分によって携わる業務内容や採用後の任用に違いはありますか？

A 税関では、採用時の試験区分に関わらず、税関業務全般に携わっていただくことになります。技術系だからといって、特に業務が限定されることはありませんし、配属先によっては、学生時代に身に付けた専門知識を存分に発揮できる機会もあります。また採用後の任用についても違いはなく、本人の希望や能力次第で様々な業務を経験することができます。

Q2 税関業務についてより詳しく知るためにはどうしたらいいですか？

A 人事院主催の説明会等に参加していただければより詳しく税関の業務について理解していただくことができます。その他、税関ホームページにも水際取締りや輸出入手続き、貿易統計といった業務に関わる情報を掲載していますので、ご覧下さい。また、税関ではTwitterやFacebookを活用し、全国における覚醒剤やコピー商品などの水際取締りの取組みをはじめとする税関の活動について紹介しています。
税関ホームページ→<https://www.customs.go.jp>
税関Twitter→https://twitter.com/custom_kun
税関Facebook→<https://www.facebook.com/Japan.Customs>

Q3 英語力はどの程度必要ですか？

A 英語力は高い方が望ましいですが、採用時に必ずしも英語力が高くなくても、採用後の研修や自主的な勉強により、英語力を高め、国際的な分野で活躍している諸先輩も多くいます。

Q4 業務説明会等の情報はどのように知ることができますか？

A 税関では、例年、総合職中央省庁セミナーや霞が関OPENゼミ等、数多くの説明会等を実施しています。説明会等については、大学等でも情報提供されていますが、税関のHPでも、随時情報を更新し、説明会等の情報提供を行っています。税関に関心のある方は、税関ホームページの採用案内ページをご確認下さい。
<https://www.customs.go.jp/saiyou/saiyou.htm>



Q5 研修について教えてください。

A 採用時の研修にはじまり、語学研修、国内外の大学院への派遣研修、経済学に関する研修等の機会が多くあります。なお、これらの研修には、文系、理系を問わず派遣しており、理系の者が大学院で経済学を学ぶなど、自身を高める機会が豊富です。

Q6 国際的な業務を行うことは必須ですか？

A 財務省税関(総合職)では、多くの国際的業務を行う機会がありますが、同時に国内の業務も多く、関税局における法令業務、監視取締分野の企画立案や法執行業務、貿易円滑化に関する企画立案や執行業務、税関のITシステムに係る業務など様々な分野で活躍する機会があります。